

経営比較分析表（令和2年度決算）

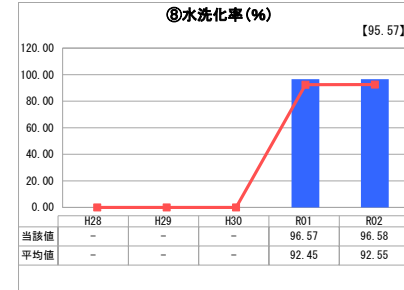
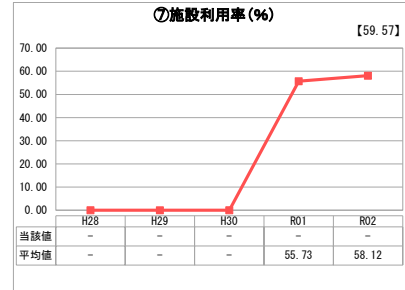
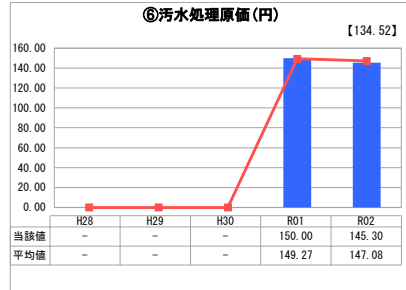
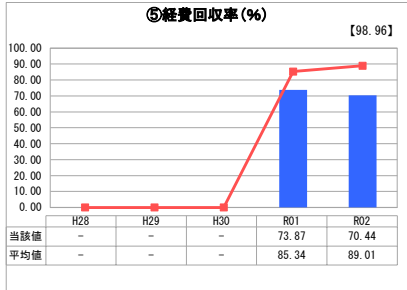
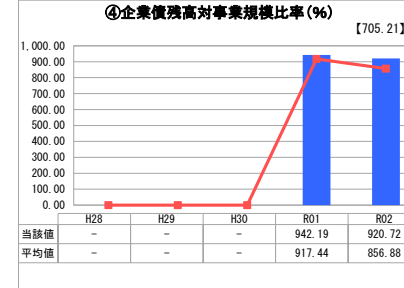
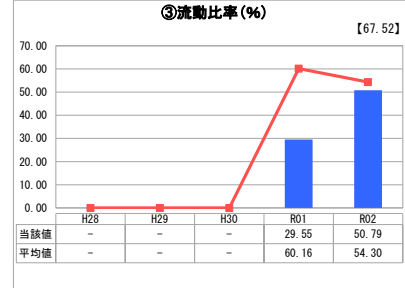
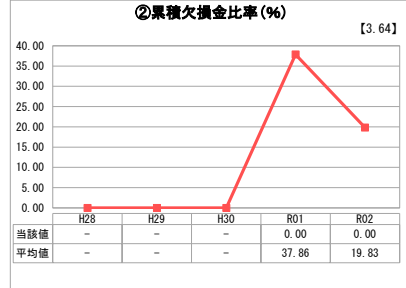
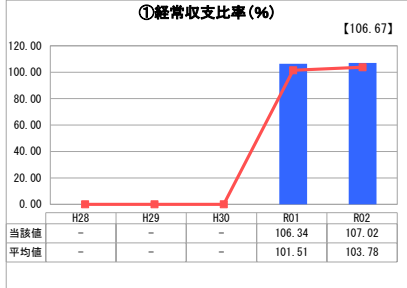
神奈川県 開成町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cb1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ^m 当たり家庭料金(円)
-	68.80	73.13	75.21	1,685

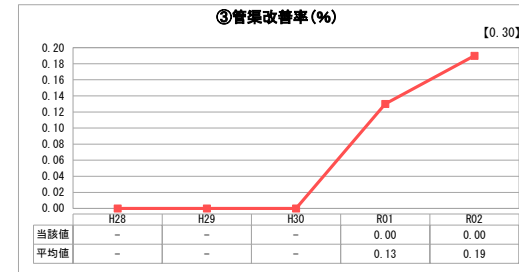
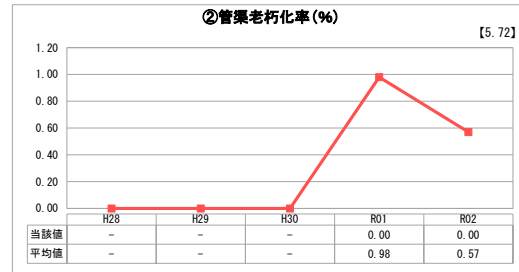
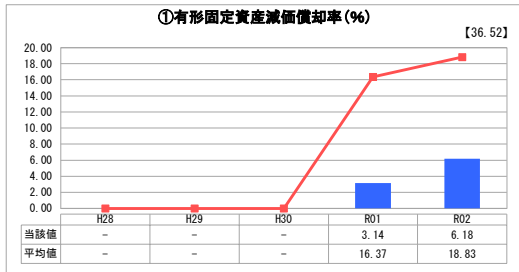
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,223	6.55	2,782.14
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
13,351	2.54	5,256.30

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は107.02%であり100.00%を超えています。使用料収入の他一般会計からの繰入をしている状況です。
 経費回収率は100.00%を下回っており、類似団体平均値と比較しても低い値となっています。
 支出面では、今後、管渠等の老朽化に伴う更新などの費用の増大が想定されます。
 将来の更新費用等を見据えて経費節減や下水道使用料の見直しなど収支改善を行い経営の安定化を進めていく必要があります。

2. 老朽化の状況について

管渠については、耐用年数に達していないため管渠改善率は0.00%となっています。
 有形固定資産減価償却率は6.18%で類似団体平均値と比較しても低い数値であり老朽化の割合は高くありません。現時点においてすぐに耐用年数に達する管渠はありませんが、管渠調査の定期的な実施やストックマネジメント計画などを作成して将来の管渠の更新について計画的に進めていく必要があります。

全体総括

現状では耐用年数に達する管渠はなく、管渠の老朽化に伴う更新は行っていません。
 しかしながら、将来の更新費用等を踏まえ計画的に更新が行えるようストックマネジメント計画などを策定する必要があります。
 スtockマネジメント計画などの策定により、具体的な将来更新需要を把握し、経営戦略に反映させ収支の改善を図りながら中長期的に経営の安定化が図れるように進めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。